



内閣感染症
危機管理統括庁

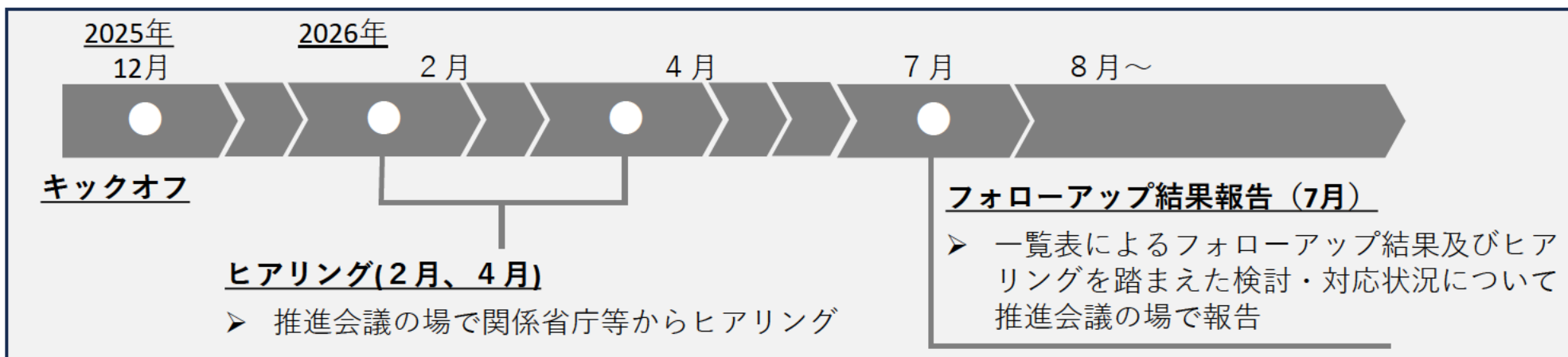
令和7年度 新型インフルエンザ等対策政府行動計画の フォローアップについて（取組概要）

令和8年8月・9月
内閣感染症危機管理統括庁

新型インフルエンザ等対策政府行動計画のフォローアップについて

- 政府行動計画は、その実効性を確保するため、実施状況について毎年度定期的なフォローアップを行うこととしており、令和7年度冬～令和8年度春にかけて、令和7年度フォローアップを行った。
- 網羅的に取組状況を把握し、また、特に重要なテーマについては進捗状況を個別に確認するため、昨年同様、
 - ① 一覧表による取組状況の把握（p 2 参照）
 - ② 個別のテーマについて新型インフルエンザ等対策推進会議（「推進会議」）の場で関係省庁等から進捗状況をヒアリング（p 3 参照）を行った。
- その上で、一覧表の取りまとめ結果と、ヒアリングを踏まえた検討・対応状況について、令和8年7月の推進会議の場で報告し、指摘いただいた事項等を今後の取組に反映させていく。

（今年度のスケジュール）



①一覧表による取組状況の把握

- 一覧表の様式は、昨年度のフォローアップの様式を参考とし、記載に当たっては、可能な限り、具体的かつ定量的な記載となるようにした。
- 取りまとめ結果については、令和8年7月の推進会議の場で報告。
- 一覧表では、準備期の記載だけでなく、初動期や対応期の記載についても、迅速かつ適切な対応の準備ができているかを確認した。

政府行動計画の昨年度のフォローアップ

「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」のフォローアップ一覧表（準備期）（第23回新型インフルエンザ等対策推進会議（令和8年7月16日）資料2－1）より抜粋

令和8年3月31日時点						
No.	担当省庁	頁	見出し	政府行動計画の記載	令和7年度までの取組状況	令和8年度以降の取組方針
4	統括庁、その他全庁	56	1-3. 国等の体制整備・強化	② 国及びJHSは、新型インフルエンザ等対策に携わる専門人材、行政官等について、キャリア形成の支援等を行いながら、訓練や養成等を推進する。	令和6年度の感染症危機管理対応訓練以降、訓練の場を活用し、感染症危機を担う職員の知識及び資質の向上を図るとともに、平素の勤務においても、有識者講話や外部の施設研修の場を設定する等、感染症危機管理能力の向上を図っている。また、統括庁主催の訓練や研修事業に各省からの職員等を受け入れ、キャリア形成を支援している。令和7年度は、毎月の各都道府県、2回/年の全庁訓練を実施したほか、1回の有識者講話、3箇所の施設研修を実施した。	引き続き訓練の場を活用するとともに、有識者講話や外部の施設研修の場を定期的に設定し、職員の資質向上を図る。また、統括庁主催の訓練や研修事業に各省からの職員等を受け入れ、キャリア形成を支援する。
					・厚生労働省において、令和7年11月18日に、統括庁が実施した政府対策本部訓練に合わせ、海外での新型インフルエンザ等感染症の発生を想定した感染症危機管理対応のための省内外対策本部訓練を実施し、省内の初動対応の状況および今後の対応方針の確認を行った。また、感染症対策部等、感染症対策関連部署の職員に対する感染症対応に関する研修を行った。 ・令和7年度には、成田空港検疫所を始めとして全国の検疫所（海港29カ所、空港23カ所）において都道府県等の関係機関とともに検疫措置訓練を実施し、有事における連携体制等を確認した。 ・JHSにおいて、地方衛生研究所等と協力し、病原体検出法の確立及びその手法を展開する初動体制確保や初動訓練を行う病原体検査体制訓練を令和6年度から実施している。 ・厚生労働省は、JHSと連携し、感染症危機管理リーダーシップ（IDCL）研修を通じ、行政官等に対してキャリア形成の支援を行った（令和6年度から開始、令和6年度はモデル事業として実施し16人修了。令和7年度は長期研修、短期研修あわせて33人修了）。	・引き続き、厚生労働省において、新型インフルエンザ等の発生に備えた訓練や研修を定期的に実施していく。 ・全国の検疫所において、関係機関との合同実施も含めた訓練や研修を行う。 ・JHSにおいては、引き続き地衛研等に広く参加いただき、病原体検査体制訓練を実施する。 ・厚生労働省は、JHSと連携し、感染症危機管理リーダーシップ（IDCL）研修を通じ行政官等に対しキャリア形成の支援を行う。

②個別テーマのヒアリング

- 政府行動計画の特に重要なテーマを各年度で選定し、関係省庁等から進捗状況をヒアリングした。
- 今年度は、令和8年2月及び4月の推進会議の場でヒアリングを実施し、7月の推進会議でヒアリングを踏まえた検討・対応状況を報告した。
- 今年度は、進捗確認の必要性の観点から、水際対策、物資、治療薬・治療法、保健、の4分野をヒアリング対象として選定。

実施時期	対象テーマ	ヒアリング内容の例
令和8年2月	水際対策	・ 体制整備（PPEの備蓄、隔離・停留のための医療機関との協定締結、検査能力）の状況について ・ 訓練の実施状況について ・ 海外渡航者への情報提供について
	物資	・ PPEの生産・輸入体制と備蓄状況、政府で導入を支援した生産設備について ・ 官公庁、医療機関等の物資備蓄状況について
令和8年4月	治療薬・治療法	・ 治療薬に関する政府の研究開発推進体制について ・ 医薬品の安定供給に向けた取組について
	保健	・ 体制整備（宿泊協定の締結、IHEAT専門講習の実施など）の状況について ・ 保健所業務のDX化について
令和8年7月	—	・ 上記ヒアリングを踏まえた検討・対応状況の確認

都道府県行動計画のフォローアップに関するお願い事項

都道府県行動計画のフォローアップ

- **都道府県行動計画については、計画を計画で終わらせず、その実効性を確保するため、各都道府県において、取組の進捗状況のフォローアップを実施していただきたい。**

(実施に当たっての御参考)

- ・ 政府行動計画フォローアップ（令和 7 年度、令和 6 年度）

https://www.caicm.go.jp/action/plan/keikaku_followup.html

(内閣感染症危機管理統括庁 H P / 政府行動計画フォローアップのページ)

- ・ 新型インフルエンザ等対策推進会議（会議資料、議事録）

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/taisakusuisin.html>

(内閣官房 H P / 新型インフルエンザ等対策推進会議のページ)

令和 7 年度政府行動計画フォローアップ関係：第20回～第23回

令和 6 年度政府行動計画フォローアップ関係：第15回～第18回

※推進会議での議論については、適宜、情報提供させていただく予定。